

令和5年度

災害時における 外国人への支援セミナー

共催：一般財団法人 自治体国際化協会 (CLAIR)

地震や水害等の災害、新型コロナウイルス等の感染症発生時等における外国人住民を取り巻く状況を踏まえ、支援のための仕組みづくりなどについて理解を深めます。また、災害時において、外国人住民を含めた多様な主体との連携や、地域防災のあり方について考えます。

研修の ポイント

- 日本で暮らす外国人住民の増加と多国籍化、さらには今後見込まれる訪日観光客数の増加に伴い、災害時に外国人から求められる対応は多様化しています。このような現状を把握し、地域にどのような課題があるのか、具体的に考えていきます。
- 近年の災害における事例から、防災に関する国や自治体の動向や対応について学びます。
- 外国人住民も参加する様々な団体やボランティアとの連携による地域防災活動について学びます。
- 外国人の避難行動や避難生活で求められる配慮等について、地域で話し合い、災害への備えを進めていく方法について学びます。

※「災害時における外国人への支援セミナー」修了者は、別途総務省が実施する「災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修」を受講することで、より外国人被災者のニーズに即した対応が可能となります。詳細については、総務省自治行政局国際室 (TEL03-5253-5527) までお問い合わせください。

開催要領

日 程

令和5年9月25日(月)～9月27日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 市区町村・都道府県職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員
 - 地方公共団体や地域国際化協会と協働して地域の国際化(多文化共生)に取り組むNPOまたはNGOで地方公共団体または地域国際化協会から推薦を受けた団体の職員
- 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

70人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

6,950円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
(一財)自治体国際化協会(CLAIR)からの助成(研修費3,900円)後の額です。CLAIRの助成対象外の方は、10,850円です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年8月9日(水)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。
NPO、NGOの職員の方がお申込みいただく場合は、受講推薦書が必要になります。
受講申込書(受講推薦書付き)は、JIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

9月
25日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 これからの外国人住民との協働による地域防災を考える

特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
様々な災害現場で外国人への支援をされてきた田村氏から、災害時の外国人の状況や支援の必要性についてお話しいたします。
また、支援の対象だけでなく、担い手としての外国人への視点から、協働による地域防災のあり方についてお話しいたします。

14:25~15:35

演習 自己紹介・情報交換(事前課題共有)

田村 太郎 氏

グループ討議を行うにあたり、グループのメンバー同士の自己紹介を行うとともに、事前課題をもとにメンバーそれぞれの自治体や所属する団体における取組状況を全体で共有します。

15:50~17:30

演習 グループ討議

田村 太郎 氏

外国人住民も参加しながら、様々な団体との連携で実施する地域防災事業について、グループで議論するテーマを話し合います。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

事例紹介

①災害時の支援体制を強化する「多文化キーパーソンネットワーク事業」の取り組み

公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター

多文化共生チーム主任・外国人相談センター副センター長 松居 慶子 氏

②「災害多言語支援センター」に関する市・協会との協定、マニュアルの策定、設置訓練の実施

公益財団法人北九州市国際交流協会 事業推進課 黒田 知美 氏

③外国人散住地域における自治会等と連携した地域ぐるみでの防災の取り組み

一般社団法人ダイバーシティうんなんtoiro 代表理事 芝 由紀子 氏

④過去の自然災害における外国人被災者の状況

一般財団法人ダイバーシティ研究所 研究主幹 楊 梓 氏

災害発生当時の経験や、外国人住民が主体となって参画する地域防災の取り組みについてお話しいたします。

13:00~14:30

講師との直接対話

松居 慶子 氏 / 黒田 知美 氏 / 芝 由紀子 氏 / 楊 梓 氏

4つのグループに分かれ、事例紹介を行っていただいた4人の講師の方に直接質問をしたり、意見交換を行います。

14:45~17:00

演習 グループ討議

田村 太郎 氏

楊 梓 氏

講義や事例紹介、前日の情報交換の内容を踏まえ、災害時における外国人支援に関する課題を抽出し、その対応策についてグループで議論します。

17:00~

課外学習

9:25~12:00

演習 グループ討議報告会

田村 太郎 氏

楊 梓 氏

グループ討議で議論した内容を発表し、講師からアドバイスをいただきます。

13:00~14:10

演習 ふりかえり

田村 太郎 氏

楊 梓 氏

研修で学んだことを地域での取り組みへの足掛かりとするために、研修全体のふりかえりを行います。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和5年

9月
27日(水)

● 本研修は、全日程を特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

■ (一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

① 地方公共団体に属する職員 研修費(3,900円)を助成

※ 地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっていますので、ご注意ください。

② ◆ 地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員

◆ 地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPOまたはNGOで、地方公共団体または、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員 研修費(3,900円)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成

詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。

電話:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742 ホームページ:<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail:tabunka@clair.or.jp